

I 管理業務の実施状況に関する事項

1. 総括

豪商のまち松阪観光交流センターは、松坂城跡周辺の歴史文化ゾーンにおける観光拠点としての機能を有する施設として開館し、その一帯は、周辺に点在する文化施設と一体性をもたせた「歴史文化ゾーン」として、まち歩きが堪能できる回遊性を持たせた観光地へと整備され、松阪における一大観光地へと飛躍しております。このような立地特性を活かし観光案内業務をはじめ松阪ならではの物産の販売、文化財施設ではその効用を最大限活用した企画展の開催など松阪の魅力を発信してまいりました。

1年を振り返ると、文化財施設の管理・運営を包括的に委託した NPO 法人松阪歴史文化舎やガイドボランティアの皆様との連携により「まちあるき」を楽しんでいただけるよう、周遊性を高めるためのご提案や各施設がそれぞれの特色を活かした取り組みを展開し少しでも長く滞在していただき松阪の魅力を感じ興味を持っていただけるよう努めてまいりました。各施設では観光客への丁寧な説明やご案内により多くの方から松阪の歴史や文化に対する高評価を得ており、お客様にご満足いただけているものと感じております。

施設管理においては、法定点検や職員による点検、清掃などを徹底し利用者が快適にご利用いただけるよう施設環境の保全に努めております。また、施設整備が必要となった場合には、市所管部局への報告、指導により適宜対応してまいりました。特に文化財施設においては文化財保護の観点と文化財の持つ歴史的価値など魅力を伝えるという文化と観光の一体的な事業を推進することから慎重に対応してきました。

施設運営にあたっては、職員体制を見直すなど試行錯誤の一年でありましたが、ようやく軌道に乗ったところで、お客様にご満足いただける魅力ある施設として頑張ってきており、対外的な認知度は向上していると感じており、ひいては文化振興や観光振興に寄与できたものと実感しております。

【豪商のまち松阪観光交流センター】

松阪の歴史や文化、食などさまざまな情報の紹介や情報収集のお手伝いをするなかで松阪の魅力をお伝えしてまいりました。開館当初は各方面への PR が功を奏し、4月、5月は多くの方がお越しいただき、令和元年度入館者数は、44,670人で、目標の36,000人を大きく上回っており「まち歩き」の立ち寄り場所としてご利用いただいていることが窺えます。

開館当初は従業員の体制や接客など多くの課題を抱えてのスタートでありましたが、徐々にではありますが改善を行い、お客様にご満足いただける施設として運営してまいりました。

日々の運営においては、お客様視点に立ち気持ちよくご利用いただけるよう施設管理を徹底することやお客様の視点に立った丁寧な接客に心掛けお客様の満足度の向上を意識し運営してまいりました。開館間もない施設であり大きな修繕等はありませんが、施設の管理運営において必要となるものの調達やお客様がご利用されるに際し改善した方がよいものなど常に改善を意識し良好な施設環境とな

るよう整備してきました。

事業では、まち歩きのお手伝いを推奨するアレジメントシステムが度重なる不具合や現在ではスマートフォンからの情報取得が容易にできる環境が整っていることもあり利用率は伸び悩んでいるのが現状です。まちなかを楽しんでいただくため2階の展示ゾーンやジオラマ、シアターの映像の上映は多くのお客様がご覧になり松阪の歴史の重層性や多彩な魅力を感じていただき好評を得ております。

豪商エリアへ多くの観光客がお越しいただけるよう旅行事業者などへ働きかけやメディアでの放映、旅行雑誌への掲載などに数多く取り上げていただいたことで全国から多くの観光客がお越しいただき、特に多くのバスツアーを誘致することができました。また、市内のイベントに合わせ JR ウォーキングの誘致や近鉄ウォーキングでは豪商のまちなみを散策する企画を実施し多くの方をおもてなしし豪商エリアを堪能されています。

お越しいただいたツアーのお客様などにはボランティアガイドが丁寧な説明により松阪の歴史・文化の魅力を分かりやすく伝えていただき、ガイドが付かないお客様には各施設の職員が対応するなどお客様がご満足していただけるよう努めてきました。また、豪商エリアで時間をかけゆっくり散策していただけるよう窓口でのご案内や「みどころすたんぷ(スタンプラリー)」を実施するとともにアンケートにお答えいただくことでお客様ニーズの把握を行い改善に努めてきました。

自主事業である松阪産品等の販売は、松阪ゆかりの特色のある商品について見せ方を工夫するなどお買い求めいただきやすいよう考慮し、また、時節を意識した企画展示販売を実施するなど物販を通じ松阪の魅力を発信してきました。

春、秋の行楽シーズンには約6,000人の方がお越しいただいております。また、閑散期にあっても月2,000人を超える方がお越しいただいております。まち歩きの拠点施設として着実に前進していることを実感しております。

【旧長谷川治郎兵衛家、旧小津清左衛門家、原田二郎旧宅】

文化財施設については文化財を熟知する NPO 法人松阪歴史文化舎に管理運営業務を委託しました。旧長谷川家は、建造物が国指定重要文化財に、敷地が三重県指定史跡及び名勝に指定されており、江戸時代から近代に至るまでの屋敷地や住宅の発展過程及び長谷川家の営みを理解・尊重し、保存・公開・活用し後世に伝えるという保存活用計画の基本方針を基本に、適正な維持管理を行い、積極的に活用していくことで、文化財のもつ歴史的価値を伝えてまいりました。

旧長谷川家の文化財資源を活用した大蔵での「長谷川家のあゆみ」や「長谷川家の夏」「長谷川家の茶の湯」「長谷川家の信仰と年中行事」「俳人長谷川家の餅舎コレクション」の企画展示と「ちょっと昔のお雛さま」の特別展示により旧長谷川家の魅力を発信しました。観光客など来館者に丁寧な説明やご案内を心掛けました。

歴史や文化を学べる機会の提供としては、藍の叩き染め体験教室や「火用心」札木版印刷体験教室、華道子ども教室、ミニコンサート「秋の夜長の雅楽の調べ」、松阪学入門講座などの開催とともに市内外小中学校の児童・生徒を積極的に受け入れました。

大正座敷では、松阪市茶道協会の協力を得、松阪萬古第五代佐久間芳山作の茶碗(寄贈)を用いた呈茶(抹茶)のサービスや氏郷市民大茶会、松阪市茶道協会発会記念茶会により文化財の中でくつろ

ぐひとときを提供し好評をいただきました。文化財を身近に感じてもらう機会として、離れ座敷の貸し出しを行っています。月平均3件の利用に留まっています。文化財の貸し出しということで、非常に制約が多い中で今後も工夫した活用を計画します。

旧小津家は、建造物が三重県指定有形文化財に、敷地が松阪市指定史跡に指定されており、旧長谷川家に準じ適正な維持管理を心掛ける一方で積極的な活用を図っております。

旧小津家の文化財資源を活用した内蔵での「小津家のあゆみ」や「小津清左衛門家子どもの祝い事」「清水の豪商 乾九兵衛家のあゆみ」「松阪商人の茶の湯」「木綿商津嶋屋竹内家のあゆみ」の企画展示と「ちょっと昔のお雛さま」の特別展示により旧小津家の魅力を発信し市民をはじめ観光客の誘客に努めました。また、皇風煎茶会や子ども茶道教室、氏郷市民大茶会、松阪市茶道協会発会記念茶会を開催し文化に触れる機会を提供しました。さらに旧長谷川家・旧小津家に残る古文書をテキストに用いた「古文書入門講座」を開催しました。向座敷の貸し出しについては旧長谷川家の離れ座敷も含め「貸し出しが可能であること」のさらなる周知をしていきます。

原田二郎旧宅は、建造物が松阪市指定有形文化財に指定された文化財であることから、その歴史性を踏まえ、旧長谷川治郎兵衛家・旧小津清左衛門家に準じた適正な維持管理を心掛ける一方で企画展示「原田二郎の業績」「城代組同心 服部家と松阪徳義社」「原田二郎と佐々木弘綱・信綱父子」を開催し誘客に努めました。

年間旧長谷川治郎兵衛家では17,351名、旧小津清左衛門家では、13,041名、原田二郎旧宅は7,897名、合計38,289名の来館がありました。これら文化財施設や所蔵資料の恒久的な保存とともに、積極的な活用にあたっては松阪市観光協会、松阪市茶道協会、ゆうづる会、本居宣長記念館、松阪市立歴史民俗資料館、郷土資料室、松阪図書館、松阪ガイドボランティア友の会等との連携、協働を図ってきました。

総じて、観光客をはじめ来館者の周遊性を高めるため、各施設が魅力ある情報を発信するとともに来館者への丁寧な説明やご案内により多くの方から松阪に対する高評価を得ております。引き続き魅力ある松阪を発信していきます。

2. 管理業務の実施状況

(1) 改善指導（中間報告）に対する対応

中間報告において改善指導がありました事項については、次のとおり改善に努めています。

【豪商のまち松阪観光交流センター】

① 職員の勤務体制

職員体制は当施設のオープン時から徐々に改善されてきましたが、職員の勤務体制が変則勤務のため運営に支障を来すことがないように、職員の勤務状況を十分把握して勤務体制を構築しました。当センターは非常勤職員が多く、シフトを組んでの出勤体制であるため、毎月、担当別に弱点が出ないように、組織としての力を発揮できるよう、シフトを組むようにしました。

② 職員の労務管理

職員が正当な権利を享受でき、安心して働ける職場となるよう非常勤職員全員と雇用契約を締結し、労働基準法等の遵守により職場環境の改善、整備を行ってきました。また、シフト表により職員間に不公平が生じないよう公正に努め、また、スタッフの意見を聞き、職場環境の改善、整備に努めてきました。

③ 情報の共有

施設の管理運営やお客様へのサービスの提供にあたっては、職員間の情報共有は欠かせず、職員全員が情報を享受できる体制の整備に努めてきました。また、松阪駅観光情報センターや交流物産館とも密に連携を取り、情報共有に努めています。当センターは非常勤職員が多く、シフトを組んでの出勤体制のため、全員が揃うことが少なく口頭での一斉の情報共有が難しいため、タイムレコーダー横の掲示板での連絡に加え、個人別の連絡箱を設置し、連絡漏れを防いでいます。また、職員全員に SNS のラインで一斉送信し情報共有を始めています。

④ サービス水準の確保

来館されるすべてのお客様に公平なサービスを提供することが求められ、特にお客様への対応次第で松阪に対するイメージが大きく変わるため、職員配置によってサービスの低下にならないように、全ての職員が観光誘客のためのモチベーションとノウハウを共有することに努めました。明るく笑顔で接客に当たれるようサービス水準の確保に向けた取組みが大切であり、松阪市観光協会 HP の充実、スタッフのフェイスブック、インスタグラム等の SNS を活用した誘客宣伝活動についても取り組んでいます。また、ボランティア団体との連携、調整について、バス駐車場でのガイドボランティアとの連携に努めました。

今後、さらに観光協会のノウハウを活かして滞在時間を費やせるような着地での仕掛けを模索し、回遊性を向上させて観光客を「まち歩き」へ誘導し、地域の活性化にもつなげ、何度も訪れたいと思っただけよう誘客につなげてまいります。

【旧長谷川治郎兵衛家、旧小津清左衛門家、原田二郎旧宅】

① 自主事業に対する企画書等の提出

企画書のテンプレートを作成し、イベント企画書を書くべき項目を設定しました。例えば、○イベントの名称、○目的、○場所、○日時、○参加費用、○参加人数、○イベント当日までの流れ、○イベント当日の流れ、○購入するものと購入するところ、購入する人、予算、○準備するもの、準備する人とし、だれでもが作成できる環境をつくりました。施設内での責任の所在と実行を明確にするためのものです。なお、年間パスポートや2館共通券の作成については、観光協会や文化課に計画段階から意見を求めて良いものをつくることをめざしました。

② 電話対応

それぞれ旧長谷川治郎兵衛家と旧小津清左衛門家、原田二郎旧宅で職員研修会を3回開催しました。それぞれに参加可能としましたので複数回参加することになりました。講師は、市役所の高松智子さんをお招きしました。各施設での研修会ですが、休みで参加した職員には、日当をつけて参

加を促しました。全職員が参加の研修会という位置づけで、接客研修の一環として電話対応の研修を行いました。その後、施設内の受話器一つひとつにマニュアルを貼り、受話器をとったらすぐに対応できるようにしました。研修を受けた後は、職員は意識するようになり研修を受けた成果が始めました。

(2) 非常時・緊急時の対応

【豪商のまち松阪観光交流センター】

危機管理マニュアルを策定し、職員には日々の対応や緊急時の対応について周知徹底を図っています。お客様に万が一何かがあった場合の対応や火災や地震などの自然災害への対応等について、職員常に意識し業務にあたっています。

【旧長谷川治郎兵衛家、旧小津清左衛門家、原田二郎旧宅】

火災や地震、風水害などの災害による人命の安全や被害の軽減を図るため危機管理マニュアルを策定し、訓練を通じ職員の危機管理意識の醸成を図っています。お客様が安全安心して施設をご利用いただけるよう万全の対策を行っています。また、個人情報をはじめ情報資産等の管理の基準を定めセキュリティ対策を講じています。

(3) 苦情・事件・事故の状況

事件・事故については現在まで大きな案件はありませんが、危機管理マニュアルに基づく日々の対応を遵守し事故の無いよう努めてきました。

各施設においてはお客様へのアンケートを実施し、ご意見やご感想をいただき、改善できるところは改善し、困難なものについては将来的な課題として意見を共有しています。また、市民の皆様等からご意見やご指摘を直接いただくことも多く、その都度真摯にお聴きしその対応について丁寧にご説明してきております。苦情につきましては、その背景や状況を確認の上その内容を真摯に受け止め、即改善できるものについては改善対応してきました。

【豪商のまち松阪観光交流センター】

発生日	内容	対応、対策
5/29	玄関先の段差は危ない。植木鉢を置くか通れない様にしたほうがよい。	表示を立て、黄色テープを貼り、鉢を置くななど対応し、さらに手摺りを設置した。特に高齢者の方々などにお声がけしている。

【旧長谷川治郎兵衛家】

発生日	内容	対応、対策
7/6	外国の方が誤って、長谷川の大正座敷の前の縁に土足で上がり靴跡が残った。(日本の文化に不慣れであったことと、外国の方に対する注意喚起のコミュニケーションがうまくできなかったことによる。)	日本人の観光客が多い中、縁に対して「土足厳禁」と注意するのも違和感があるため、外国人が来た場合は、職員が注意し、このことを含め、文化の違いによる事故が発生しないように見守りを重視することとした。また、翻訳機器を用意し、最小限の会話ができるように用意をした。

(4) 来館者の声 (アンケート)

【豪商のまち松阪観光交流センター】

① 収集状況

1,026件

② 来館者の主な声

- ・「初めて松阪に来ましたが、見所が沢山あり松阪のこと沢山学べました。また、思ったより一件一件に距離があったので歩きごたえがありました。各お屋敷の案内人がとてもおもしろく全然知らないことが多かったので説明聞いてよかったですと思います。」
- ・「観光地が集まっているので、とても散策しやすかったです。もう少し散策しやすいように、道に順路の標識があるといいなと思いました。旧長谷川家のボランティアの方が、とても丁寧に詳しく説明して下さり、興味深く大変勉強になり、面白かったです。親切にありがとうございました。(ジオラマを作られた方) 観光センターもキレイでもっとこれから注力されるのだなと思います、ぜひまた来たいです。SNSで情報発信をカメラとしており、必ず本日撮った松阪の写真を載せさせていただきます。フォロワー、ブログ、ツイッター、インスタで4,000人程いる。写真映えするスポットがたくさん！オシャレなカフェやあんみつ屋、食べ歩きできるお店増えるとイイナ！また来たい。友人3人とステキな女子旅ができました。」
- ・「近世江戸期の商家、武家の邸宅を徒歩圏で観て回れたのはよかったです。ただ、三井家発祥地の前の通りや城跡公園などは歩道がなかったり舗装ががたがただったりで、あまり歩行者にやさしくない印象を受けた。御城番屋敷あたりは◎。」
- ・「長谷川、小津家、昔の商人の歴史に感銘を受けました。松阪もめんのドレス、振袖、刺繍もステキでした。」
- ・「大阪からも近く、知られざる見どころの多い素敵な町なのに、まだまだ外部へのPRが足りない気がしました。」
- ・「松阪を代表する松阪牛をはじめご飯がとても美味しかったです。三井発祥の地、石畳や松阪城など風情のある街並みで当時にタイムスリップしたような感覚になり、とても楽しめました。今度は是非冬季に遊びに来てみたい。」
- ・「旧長谷川邸の富の大きさに驚いた。屋敷稲荷があんなに大きいのは初めて見ました。御城番屋敷

は近代的すぎて少し違うかなと感じました。違和感がある？原田家中庭の濠埋め立ての話は興味深いです。」

・「お城を中心に町も歴史も造られている町だと思いました。どこに行かせてもらってもボランティア(係の方)が笑顔でお話しくださり、松阪を大事に思われていることが伝わってきました。暑い一日だったが歩いて歩いて遠い昔への思いが深まる時でした。」

・「松阪牛のイメージしかなかったのですが、本居宣長や三井高利など日本の歴史上重要な人物を傑出し、また松阪木綿円居など江戸時代を彩った文化を生み出した街であることを知ることができ大変興味深く楽しい街歩きでした。東京で周りの人に『松阪は楽しかった!』と伝えたいと思います。」

・「歴史好きとしては最高のロケーションでした。旧小津家など160円で昔の家をみてまわれ普段絵を描いている身として参考資料になりました。(京都で同じくらいの町家を見学するともっとするので)あと城好きとしては城跡が立派で感激しました。刀剣乱舞のロケ地とは知らずたまたま知ったのでもっと刀剣好きにもPRしたらいいと思う。(PR)しときます!」

・「アシスト自転車で市内散策をさせてもらいました。古い歴史のある建物は見応えがあり、奥が深いですね。長谷川家のお茶の道具もすてきで目の保養に。お昼の松阪牛のすき焼きはとろけるお肉で至福の時でした。」

・「初めて松阪に来ました。予定では2時間の予定が気付けば4,5時間も巡ってしまいました。何の見識もなく訪れても、その場所ごとに、どんな所、どんな人物だったか書かれていたので、松阪の発展を想像しながら観光ができました。また来たいと思います。」

・「松阪木綿手織りを体験しました。きれいに仕上げる苦労、そして完成した時の達成感を味わえてよかったです。また手織り機械の複雑かつ巧妙な機構に感動しました。松阪といえば牛のイメージがありましたが鳥焼きもすごくおいしかったです。本居宣長についてもクイズ形式でわかりやすく学べて充実した一日を過ごせました。」

【旧長谷川治郎兵衛家、旧小津清左衛門家、原田二郎旧宅】

① 収集状況

旧長谷川治郎兵衛家

県内 35人 県外 101人

旧小津清左衛門家

県内 8人 県外 27人

② 来館者の主な声

・立派な歴史文化遺産をよく保存しておられ、感銘を受けました。(70代・男性・千葉県)

・昔の豪商の家を観ることができて、とても興味深かったです。また当時の生活がイメージできておもしろかったです。(40代・女性・松阪市内)

・江戸期、大正期と貴重な建築物が残るのは素晴らしいと思います。今後もしできる限りの保存をお願いいたします。(30代・男性・埼玉県)

・本日は企画展示「長谷川家の夏」を見に参上致しました。銀食器のアイスクリームカップ、銀製のせんぷう機 etc 貴重な展示物が見られて良かったです（40代・男性・津市）

・とてもいい展示されており大変興味深く拝見しました。建物が好きなので面白かったです。庭も手入れがゆき届いていて気持ち良かったです。ただ庭から城が見えると聞きましたが、電線や建物の障害があり残念でした。（60代・男性・兵庫県）

（5）職員研修の状況

【豪商のまち松阪観光交流センター】

豪商のまち観光交流センターのオープンに際し、人員体制の充実を図るべく積極的に雇用を進め、来館者の動向や施設の運営が安定するなかで、適正な職員体制に移行してまいりました。

雇用にあたっては、観光全般の知識や業務に必要な知識の習得に向けた研修や、マンツーマンによる実務研修を行っています。また、接客業であり、お客様への対応は非常に重要なため、特に接遇に関し指導をしてきております。

これら研修や指導とともに職員においては、自己研鑽に努めており、その結果、案内業務をはじめ物販業務においてスムーズな運営に繋がってまいりました。

また、指定管理に関する研修は、個々の職員には行っていませんが、管理運営方針も含め、責任者、事務担当レベルでの学習や情報の共有を行なってまいりました。

研修内容	実施状況	対象職員
業務前ミーティング	随時	全職員
接客研修、指導	集合研修 1 回（指導は状況に応じ）	新規採用時
観光案内業務実務研修	1 回（実務においては日々指導）	新規採用時
物販業務実務研修	2 回（実務においては日々指導）	新規採用時
アレンジメントサービス端末機能操作研修	2 回	案内業務担当職員
指定管理者収支に関する内部研修	1 回	事務経理担当職員
指定管理についての学習	1 回	全職員

【旧長谷川治郎兵衛家、旧小津清左衛門家、原田二郎旧宅】

研修内容	実施状況	対象職員
施設の概要等基礎知識・接遇の基準	新規採用時	全職員を対象
日々の業務報告書の作成方法	新規採用時	全職員を対象

レジスター研修	新規採用時	全職員を対象
呈茶の基本、抹茶の入れ方、お客様への作法、呈茶の講習会	新規採用時	全職員を対象
担当税理士による会計ソフトの使い方	4月初旬、4回	経理担当職員
PayPay に対する取り扱い（業者、経理担当者による）	8月（逐次）	全職員を対象
エクセル研修（初級から応用コース）	12月18日	事務担当職員
接客研修と電話対応 「接客をするのに求められるもの」	2月4日 於：旧長谷川治郎兵衛家	旧長谷川治郎兵衛家を中心に全職員
接客研修と電話対応 「顧客満足を考える」	2月16日 於：旧小津清左衛門家	旧小津清左衛門家を中心に全職員
接客研修と接客ロールプレー 「最初の15秒ですべてが決まる」	2月18日 於：原田二郎旧宅	全職員を対象
呈茶作法の講習	3月18日～3月31日	全職員を対象

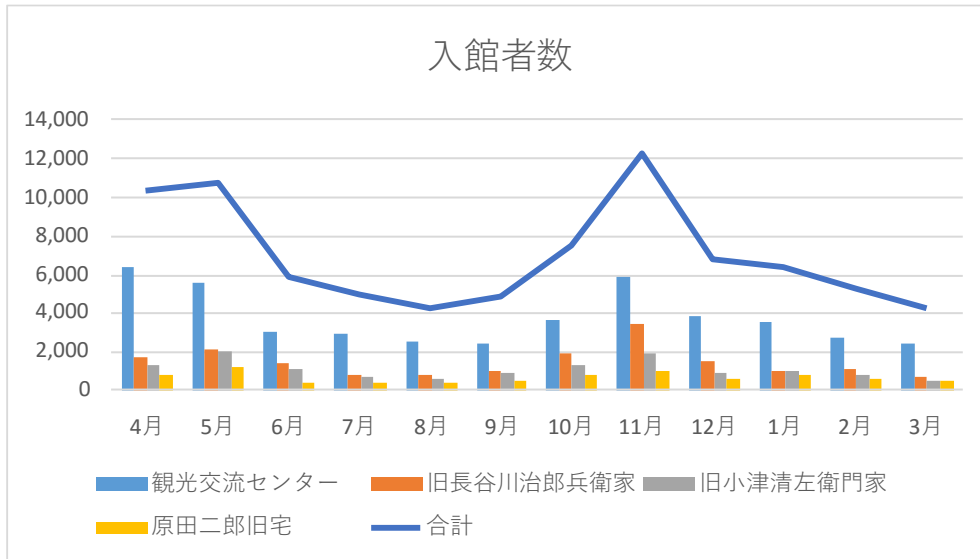
3. 入館者数の推移

豪商のまち松阪観光交流センターをはじめ、3文化財施設の入館者数は、4月、5月は1万人を超え、4月の開館に向け積極的にPRしたことが一つの要因であると推測しています。中でも旧長谷川家が終日公開（月曜日休館）となったことや松阪観光交流センターの開館により「まち歩き」の発着点が整備されたことで、多くの点在する文化財施設等が「まち歩き」に適した線で結ばれたため周遊性が格段に向上し観光客等が多く訪れていただきました。しかしながら3文化財施設は休館日（月曜日）が設定されているため、行楽シーズン中の集客の減少が課題です。これは、3施設だけの課題ではなく、歴史民俗資料館、本居宣長記念館を含む、市中心部における文化財の活用と保存等、施設全体の連携の課題でもあると考えます。

続く6月は雨天が続き、7月から8月にかけては、非常に暑い日が続くなど天候に恵まれず入館者は減少傾向にありましたが、これは猛暑の夏季シーズンの減少として想定しており、月間目標は満たしていました。そして秋の行楽シーズンにはバス専用駐車場が満車になる日が続くなど、沢山のお客様にお越しいただきました。特に10月9日から12月8日まで観光バス53台で2,300人が松阪に訪れてもらいました。約90分という限られた時間でありましたが、福井から観光客が来ていただいたのは、事前に福井市の読売旅行会社への働きかけの結果と認識しております。その結果、11月の入館者の総数が12,213人と最高になりました。

厳寒期は減少を想定していましたが、続く春の行楽シーズンの始まりと共に、新型コロナウイルス感染症の影響により、お客様が想定外の減少となりました。この一年間で得たノウハウを活かしてさらなる展開の時期に残念でありませんが、状況に合わせて職員の安全を守りつつ対応してまいります。

《入館者数》



施設名称	4月				5月				6月				7月				8月			
	平日	土日祝	計	内外国人	平日	土日祝	計	内外国人	平日	土日祝	計	内外国人	平日	土日祝	計	内外国人	平日	土日祝	計	内外国人
観光交流センター	2,751	3,693	6,444	32	1,989	3,539	5,528	61	1,783	1,247	3,030	24	1,379	1,483	2,862	52	1,322	1,141	2,463	47
旧長谷川治郎兵衛家	694	959	1,653	9	992	1,072	2,064	15	766	657	1,423	8	398	435	833	3	352	434	786	4
旧小津清左衛門家	613	733	1,346	6	852	1,108	1,960	7	547	510	1,057	2	272	449	721	2	256	332	588	0
原田二郎旧宅	302	540	842	3	315	843	1,158	13	162	240	402	5	165	254	419	6	172	181	353	6
合計	4,360	5,925	10,285	50	4,148	6,562	10,710	96	3,258	2,654	5,912	39	2,214	2,621	4,835	63	2,102	2,088	4,190	57
施設名称	9月				10月				11月				12月				1月			
観光交流センター	1,342	1,073	2,415	22	2,037	1,533	3,570	36	2,352	3,594	5,946	94	2,654	1,145	3,799	27	1,648	1,870	3,518	30
旧長谷川治郎兵衛家	381	614	995	21	1,158	737	1,895	15	1,101	2,308	3,409	81	59	931	1,528	17	349	692	1,041	7
旧小津清左衛門家	347	527	874	2	714	608	1,322	10	635	1,247	1,882	7	283	650	933	13	367	663	1,030	3
原田二郎旧宅	186	298	484	11	353	399	752	16	364	612	976	11	239	329	568	19	205	608	813	10
合計	2,256	2,512	4,768	56	4,262	3,277	7,539	77	4,452	7,761	12,213	193	3,773	3,055	6,828	76	2,569	3,833	6,402	50
施設名称	2月				3月				合計				外国人比率%							
観光交流センター	1,338	1,325	2,663	16	1,063	1,369	2,432	12	21,658				453	1.01						
旧長谷川治郎兵衛家	357	702	1,059	13	297	368	665	4	7,442				197	1.13						
旧小津清左衛門家	273	535	808	8	230	290	520	4	5,389				64	0.49						
原田二郎旧宅	185	417	602	3	176	352	528	0	2,824				103	1.3						
合計	2,153	2,979	5,132	40	1,766	2,379	4,145	20	37,313				817	0.98						

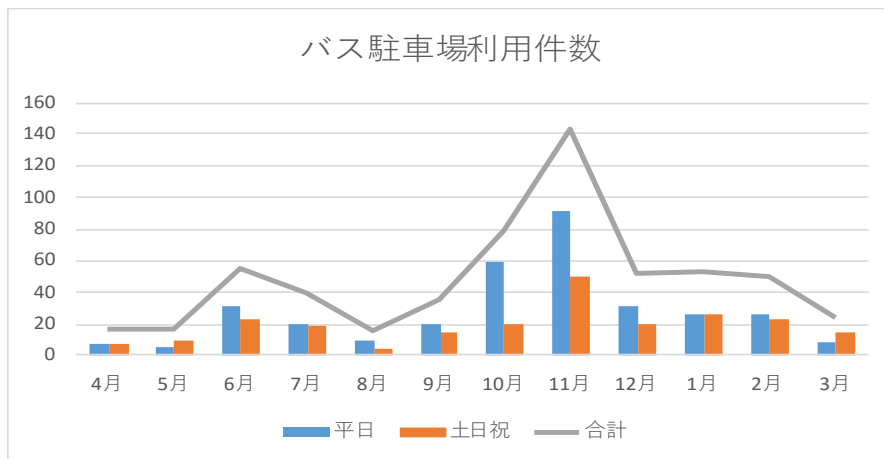
4. バス駐車場利用状況

豪商のまち松阪観光交流センターの開館当初は、旅行事業者やバス会社への周知、PR ができていないこともあり松阪市駐車場をご利用いただいていたが、旅行事業者などへのダイレクトメールの発送やHP での周知、一度利用された会社のクチコミ等により、バス駐車場の利用が増加の傾向にあります。また、駐車場を利用されるバスの送迎や豪商のまち松阪観光交流センターのご利用をご案内するなど観光客の誘導を行ってきました。駐車場から観光施設へのアクセスの良さや、駐車スペースが広くバスを止めやすいなどもあり、秋の行楽シーズンにはバス専用駐車場が満車になる日が続くなど、沢山のお客様にお越

しいたきました。

引き続き、バス駐車場の稼働率の向上をめざし、旅行事業者などへ情報を発信していきます

《バス駐車場利用件数》



(件)

利用月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
平日	8	6	31	20	10	20	59	92	31	26	26	9	338
土日祝	8	10	23	19	5	15	20	50	20	26	23	15	234
利用件数	16	16	54	39	15	35	79	142	51	52	49	24	572

II 料金収入等の状況

1. 入館券等販売状況

入館者数を増やす戦略として当初からまず原田二郎旧宅の入館料を無料とすること、また長谷川、小津、歴史民俗資料館の3館の共通入館券（チケットには原田二郎旧宅の写真も入れ、4館を案内）を作成し、3館それぞれを単独に入場するよりも安価になるように工夫しました。

文化財施設3館の入館券販売状況ですが、単館券の販売では、年度計画比、旧長谷川治郎兵衛家が134%、旧小津清左衛門家が111%と順調に販売されています。個人販売では、「まち歩き」にお得な共通入館券の利用が多く、お客様は松阪散策を目的に来られる方が多いことが窺えます。旅行行程上、時間的な余裕が無い方は単館券に流れる傾向にあります。また、個人販売の共通入館券が年度計画比、226%と高くなっており、旧小津清左衛門家や歴史民俗資料館での販売が堅調です。旧小津清左衛門家は、駅から周遊することを考えると自ずと共通券の購入が順調なのが理解できます。

団体での入館は、年度初めは低調であり、観光バスを利用されるお客様は、見学時間設定が容易となる松坂城跡や御城番屋敷、歴史民俗資料館などお城を中心とするエリアを集中的に回られる傾向にあり、豪商エリアまでの時間的余裕が無いようにも思われました。

秋の行楽シーズンを迎え、松阪では様々な行事、イベントが展開されるなか、誘客を推進するため官民協働により松阪の魅力が発信され、これまで以上に多くのお客様にお越しいただくことができました。

観光バス駐車場が旧長谷川治郎兵衛家の隣にあることや、福井市からのお客様が58歳から92歳ということもあり、お城の段差のあるところの見学を望まれるより平地の豪商エリアを選ばれるということも幸いし、入館券の売り上げ上昇につながりました。引き続き共通入館券の販売の推奨とともに、丁寧なご案内をはじめ「おもてなし」を行うなど「まち歩き」から松阪の魅力を感じていただけるよう取り組んでまいります。

(1) 単館券の販売状況

① 販売数

施設名称	販売数（枚）				合計
	一般		小人		
	個人	団体	個人	団体	
旧長谷川治郎兵衛家	6,862	2,377	174	107	9,520
旧小津清左衛門家	3,733	1,196	253	1	5,183
合計	10,595	3,573	427	108	14,703

② 売上額

施設名称	売上（円）				合計
	一般		小人		
	個人	団体	個人	団体	
旧長谷川治郎兵衛家	2,195,840	594,250	27,840	12,840	2,830,770
旧小津清左衛門家	597,280	143,520	20,240	60	761,100
合計	2,793,120	737,770	48,080	12,900	3,591,870

(2) 共通入館券の販売状況

① 販売数

施設名称	販売数（枚）				合計
	一般		小人		
	個人	団体	個人	団体	
観光交流センター	271	251	6	0	528
旧長谷川治郎兵衛家	751	125	25	0	901
旧小津清左衛門家	1,164	65	36	0	1,265
歴史民俗資料館	673	13	13	0	699
合計	2,859	454	80	0	3,393

② 売上額

施設名称	売上（円）				合計
	一般		小人		
	個人	団体	個人	団体	
観光交流センター	135,500	100,400	1,500	0	237,400
旧長谷川治郎兵衛家	375,500	50,000	6,250	0	431,750
旧小津清左衛門家	582,000	26,000	9,000	0	617,000
歴史民俗資料館	336,500	5,200	3,250	0	344,950
合計	1,429,500	181,600	20,000	0	1,631,100

(3) 松阪市立歴史民俗資料館の売上

施設名称	売上（円）				合計
	一般		小人		
	個人	団体	個人	団体	
観光交流センター	21,680	15,060	240	0	36,980
旧長谷川治郎兵衛家	60,080	7,500	1,000	0	68,580
旧小津清左衛門家	93,120	3,900	1,440	0	98,460
歴史民俗資料館	53,840	780	520	0	55,140
合計	228,720	27,240	3,200	0	259,160

(4) 入館料の減免状況

減免は、幼稚園・小学校・中学校・高等学校の社会見学が中心になります。子どもたちの文化の体験、継承に資することから利用料は免除しているところです。

松阪の文化財ということを考えますと市内の学校の児童や生徒に関してはこの減免の対応は、適切と考えています。

① 減免による入館者数

施設名称	入館者数（人）				合計
	一般		小人		
	個人	団体	個人	団体	
旧長谷川治郎兵衛家	173	63	54	725	1,015
旧小津清左衛門家	50	0	56	852	958
合計	223	63	110	1,577	1,973

② 減免による減収分

施設名称	減収額（円）				合計
	一般		小人		
	個人	団体	個人	団体	
旧長谷川治郎兵衛家	55,360	15,750	8,640	87,000	166,750
旧小津清左衛門家	8,000	0	4,480	51,120	63,600
合計	63,360	15,750	13,120	138,120	230,350

2. 離れ座敷・向座敷の利用状況

旧長谷川家離れ座敷、旧小津家向座敷の利用状況は、いずれも市民の方の利用に留まっています。特に、旧長谷川家離れ座敷での松阪伝統文化子ども華道教室や旧小津家向座敷での松阪伝統文化子ども茶道教室が毎月定期的に行われており、子どもたちの文化の体験、継承に資することから利用料は免除しているところ です。

文化財を身近に感じてもらう機会として、離れ座敷の貸し出しを行っていますが、利用は限られており、まずは市民の皆様への周知による利用促進が課題であります。

(1) 離れ座敷・向座敷の利用状況（減免含む）

施設名称	市民			市民以外			利用 件数	収入 (円)
	午前	午後	全日	午前	午後	全日		
離れ座敷(旧長谷川)	24	1	4	0	0	0	29	96,280
向座敷(旧小津)	21	8	1	0	0	0	30	69,680
合計	45	9	5	0	0	0	59	165,960

(2) 離れ座敷・向座敷の減免状況

施設名称	市民			市民以外			減免 件数	減収額 (円)
	午前	午後	全日	午前	午後	全日		
離れ座敷(旧長谷川)	19	0	0	0	0	0	19	36,960
向座敷(旧小津)	18	1	0	0	0	0	19	36,920
合計	37	1	0	0	0	0	38	73,880

3. 呈茶サービス（旧長谷川治郎兵衛家）

旧長谷川治郎兵衛家大正座敷では、松阪市茶道協会に協力をお願いし、呈茶（抹茶）の提供を行っています。4月、5月は開館効果もあり多くの方にご利用いただきましたが、天候の不順と夏の異常な暑さの影響もあり6月以降のご利用は低迷しました。

お客様には、呈茶とそれを引き立てる地元和菓子を提供し、文化財の中でくつろぎのひとときを過ごしていただいております。今後も格式高い大正座敷で落ち着いて楽しんでいただけることを更に PR

していきたいと考えております。ただし、呈茶のご利用は計画の半分程度であります。これは、呈茶を楽しんでいただけるのは、管理の関係から長谷川の入館券を購入された方だけという制約があります。施設については以前に観覧され、抹茶だけを楽しみたいという方の需要を満たせていないところがありました。

その需要を満たすため、パスポート券を作成し、呈茶だけの人に入館料を毎回払わないで入館できるようにしました。また、呈茶のサービス時間を昼食時の前後に限っていましたが、15時頃に希望される方も多く、これについては、時間の延長をしました。新型コロナウイルスの影響を受けるまでは、順調に伸びていたところですが、3月に入ってからは呈茶のサービスを停止しました。

施設名称	営業日数 (日)	売上高 (円)	客数 (人)	一日平均 客数 (人)	平均日商 (円)	客単価 (円)
旧長谷川治郎兵衛家	309	430,500	861	2.8	1,393	500

Ⅲ 管理施設の利用状況に関する事項

1. 取り組み

【豪商のまち松阪観光交流センター】

豪商のまち松阪観光交流センターは、平成31年4月5日、松阪の歴史や文化、食などさまざまな魅力を紹介し、まち歩きの発着点として情報収集やお土産さがしまで便利にご利用いただける「まちなか観光」の拠点として開館し、3月末日で44,670人が来館されました。

(1) 展示・企画展の実施状況

① 2階シアタースペースで企画展を開催しました。

タイトル	概要	実施期間	来館者数
子供神輿展	各自治会から毎年繰り出される子供神輿の風景、地域の風景、地域の未来を担う子供たちの真剣な表情の写真展示を行った。また、魚町自治会の協力のもと子供神輿、法被等の展示を行いました。	6月13日 ～7月17日	3,581人 6月1,807人 7月1,774人
松阪祇園まつり 三社みこしフォトコンテスト	三社みこしフォトコンテストの表彰展示を行いました。 8月31日に表彰式を実施（入賞15点） 9月30日まで入賞作品を展示	8月31日 ～9月30日	2,523人 8月108人 9月2,415人
松阪フォトコンテスト	フォトコンテストを開催。 8月1日～12月10日まで協会HPで作	12月15日か ら作品展示	1,210人

	品を募集し 129 作品の応募があり 12 月 13 日、日本広告写真協会会員と主催者で第 1 次審査を実施し 27 作品を選出しました。第 2 次審査は 12 月 15 日～12 月 22 日まで来場者による投票（193 人）を行い最優秀賞 1 名、優秀賞 2 名、佳作 6 名、審査員特別賞 2 名を決定しました。	10 月 1 日～12 月 29 日 中日写真協会協力のもと松阪の風景写真を展示。	
--	---	--	--

② 連続講座の開催

「江戸老舗の旦那衆が松阪にやって来た！」

松阪の豪商と縁のある日本橋、江戸から東京へと 100 年以上続いている日本橋老舗のご主人たちをお招きし、江戸老舗に詳しい歴史小説家の河治和香さんの進行で連続講座を開催しました。

※参加費無料

開催日	旦那衆	内容	その他	参加者数
5月5日(日) (イベント)	老舗料理店「駒形どぜう」の6代目越後屋助七、渡辺孝之さん	オープニング企画プレイベントとして開催。1801年創業、天然のドジョウが減少し、多くが店を畳む中、養殖に成功し、現在もドジョウ料理を提供している。創業当初から、日本橋へ進出し松阪の豪商竹口家が今も作る「ちくま味噌」を料理に使っています。		59人
9月1日(日) (第1回)	ちくま味噌17代目竹口作兵衛さん	創業300年以上という長い歴史を振り返りながら「松阪商人というのは決して松坂の地を離れなかった。江戸店へは番頭を送って自分は赴かず、遠方からふかんの構えだった。」この姿勢が結果として企業の長寿化につながったのでは。	9月1日から1階物産コーナーで「ちくま味噌」の販売を行いました。	70人
11月16日 (土) (第2回)	東京で最も古い刷毛・ブラシ専門店「江戸屋」12代	松阪の豪商長谷川家とも縁の深い大伝馬町宝田恵比寿神社・べったら市の保存会会長としてもご活躍の江戸	11月17日～12月29日まで1階物産コーナーで「江戸屋」さんの	41人

	目の濱田捷利さん	屋さんに目から鱗のブラシ・刷毛の世界について語って頂きました。	ブラシ販売を行いました。	
1月18日 (土) (第3回)	江戸末期の1864年に千代紙・おもちゃ絵の版元として神田元岩井町(現岩本町)で創業した「いせ辰」の高橋元人さん	美しい千代紙の復刻を続け、伝承版画の技術で、本来の千代紙の姿を今に伝えられています。干支の張り子たちへの名入れサービス付き実演販売も開催していただきました。	1月19日～1月31日まで1階物産コーナーで千代紙等の販売を行いました。	60名
2月22日 (土) (第4回)	明治36年創業のすき焼専門店。老舗のすき焼き屋の「ちんや」6代目住吉文彦さん	江戸時代、諸大名や豪商に狎(ちん)などの愛玩動物を納め、獣医も兼ねていたところから「狎屋」さんと言われていたようで、明治13年に料理屋に転じ、「ちんや」をそのまま屋号にしたそうです。全国のすき焼きの名店で作る「すきや連」の事務局長も務めるなど、すき焼き文化の普及に尽力されています。		50人

(2) 市内施設との連携とデータ収集

① 豪商のまち松阪 みどころスタンプの実施

町なかに特化したスタンプラリーを実施することで、お客様の滞在時間を増やすとともにニーズを把握する。(2019年4月5日から開館と同時に実施)

対象施設：豪商のまち観光交流センター、旧長谷川治郎兵衛家、旧小津清左衛門家、原田二郎旧宅、松阪市立歴史民俗資料館、本居宣長記念館、松阪もめん手織りセンター

参加者数：943人

② JAFスタンプラリー(ドライブスタンプラリー)の実施

市内施設と連携し幅広く観光スポットを紹介しました。

スマートフォンからスタンプラリーに参加し、所定数のスタンプを収集(二次元デジタルスポット)することで特典に応募できる。

スポット6か所：豪商のまち観光交流センター、旧長谷川治郎兵衛家、旧小津清左衛門家、本居宣

長記念館、飯高駅、茶倉駅

参加者数：257人

(3) 教育機関との連携

① 松阪市内高校との連携

松阪商業高等学校SBPが企画するミートパイやJKギフトを豪商センターで販売。また、松阪祇園祭り宵宮に有限会社深緑茶房の協力のもと松阪商業高等学校SBP生徒5名が商品PRとお茶のふるまいを行いました。

※SBP (Social Business Project) とは、地域の課題をビジネスの手法を用いて解決しようという取り組み。

② 高等教育コンソーシアム三重との連携

11月21日、三重大学と四日市大学の留学生による「モニターツアー」を実施し、新しい体験プログラムを外国人目線で検証していただきました。ドイツ人3人、スリランカ人3人、ネパール人3人が参加、旧長谷川治郎兵衛家離れでのお茶体験や前川料理教室での料理体験、豪商センターでの動画視聴などを行いました。

協力：松阪市茶道協会・英語ガイドボランティア MATSUSAKA HHG CLUB

③ 近隣大学との連携

愛知淑徳大学経営学ゼミ学生と豪商エリアの現地視察と意見交換会を行いました。

(4) 公共交通機関との連携

① JRウォーキングの誘致

5月25日 撫子まつりに合わせ開催 533人参加

11月24日 牛まつりに合わせ開催 704人参加

1月25日 愛宕市に合わせ開催 437人参加

各開催日には観光協会会員店舗協力のもとお茶のふるまいを行いました。

② 近鉄ウォーキングの誘致

7月1日～8月31日開催された、さんさくサマーまち歩き in まつさか「豪商のまちなみを歩こう」ウォーキングマップを各駅に配架して頂きました。

配布 3,346枚

11月3日 氏郷まつりに合わせ開催 337人参加

(5) 商談会への参加

東京豊川稲荷で開催された赤坂インバウンド商談会に参加し海外旅行会社やメディア9社に松阪市

の観光や豪商センターのPRを行いました。

商談先：大陸トラベル・ジャパンドリームツアー・H.I.S 訪日旅行・Nextour・トラベル イノベーション ジャパン・Relation・ウェンディ ジャパン・ジェイティック・エムエス ツーリスト・KNT-CT グローバル・JTB グローバルマーケティング&トラベル ビッグ ホリデイ インターナショナル等

(6) 旅行会社への営業

- ① 中国Cトリップ社訪問（名古屋）
- ② 読売旅行福井営業所へバス旅行商品造成の営業と来松のお礼
- ③ 中国富裕層の誘客にあたり（株）行楽ジャパンを訪問
- ④ 旅行事業者に観光PRと駐車場ご利用案内を送付（103件）

(7) 研修旅行の受け入れ

松阪と縁のある2社の社員研修を受け入れました。

4月7日 まる八会（三井不動産）

11月7日 K&K

(8) マンホールカードの配布

松阪市上下水道部の依頼により12月14日からマンホールカードの配布を行い、2,043枚を配布しております。

(9) 主なチラシの配布数（窓口）

配布月	豪商の まち松阪	ぶらり 松阪路	こだわり マップ	配布月	豪商の まち松阪	ぶらり 松阪路	こだわり マップ
4月	1,684	2,080	2,595	10月	311	258	886
5月	1,015	1,320	2,055	11月	261	575	1,339
6月	522	580	695	12月	892	200	1,468
7月	628	542	832	1月	342	380	839
8月	519	281	446	2月	194	191	748
9月	580	413	717	3月	215	103	669
				計	7,163	6,923	13,289

(10) 情報発信

- ①メディアによる情報発信

	事業/企画名	実施主体/依頼元	取材先
4月18日	三重テレビええじゃないか	松阪市観光交流課	豪商センター
5月17日	熊本放送	松阪市観光協会	豪商センター
5月22日	ヘルパーのかたち	松阪市観光協会	豪商センター
5月25、26日	CFvoyage フランスメディア	三重県海外誘客課	豪商センター 旧長谷川治郎兵衛家
6月2日	CBC テレビ	本気プリ	豪商センター
7月4、5日	タイ メディア&雑誌社	三重県海外誘客課	快樂亭
8月30日	三重テレビええじゃないか	松阪市観光交流課	豪商センター 旧長谷川治郎兵衛家
8月	ケーブルテレビ	水森かおりの探せ 全国歌自慢	豪商センター
8月31日	シンガポールインフルエンサー	三重県海外誘客課	豪商センター 旧長谷川治郎兵衛家
10月7日	東海テレビ スイッチ	松阪市観光協会	豪商センター
10月18日	三重テレビ津ポート	松阪市観光協会	豪商センター
11月7日	フランステレビ局取材	三重県海外誘客課	豪商センター 旧長谷川治郎兵衛家
11月7日	Instagram 企画「松阪の休日」	松阪市秘書広報課	旧長谷川治郎兵衛家
11月8日	東海テレビ撮影	松阪市観光協会	豪商センター 旧長谷川治郎兵衛家
12月20日	京都テレビ	松阪市観光協会	豪商センター
3月30日	FM 三重	松阪市観光協会	豪商センター

② 雑誌・情報誌等による情報発信

雑誌・情報誌等	実施媒体	取材先
4月	花 saku	豪商センター
シンプル6月号	松阪市観光協会	豪商センター
国分社報	国分グループ本社（株）経営企画部広報課	豪商センター
セディナ	SMBC	旧長谷川治郎兵衛家 旧小津清左衛門家
タウンページ	NTT	豪商センター
大人の名古屋	バンビ	豪商センター
JAF MATE	JAF	豪商センター 旧小津清左衛門家
JR ウォーキング雑誌 5月・11月・1月	JR	豪商センター

近鉄ウォーキング・豪商 9月～11月	近鉄	豪商センター 旧小津清左衛門家
8月	マンホールカード取材	豪商センター
全日本大学駅伝	全日本大学駅伝	豪商センター

【旧長谷川治郎兵衛家、旧小津清左衛門家、原田二郎旧宅】

(1) 展示・企画展の実施状況

各館にて年 3～5 回の企画展を実施しました。旧長谷川治郎兵衛家では豊富な所蔵資料よりテーマを決めて展示をし、旧小津清左衛門家では、商家の屋敷を生かして、松阪の商人を紹介する展示を実施しました。原田二郎旧宅では、原田二郎とゆかりのある人物を紹介したり、武士の町であるため、紀州藩関係の展示を行ったりしました。

①旧長谷川治郎兵衛家では大蔵をメイン会場に企画展を開催しました。

タイトル	概要	実施期間	来館者数
展示「長谷川家のあゆみ」	長谷川家の商いの様子や主人の教養がわかるもの、道具類等、長谷川の概略がわかる展示	4月5日～ 7月7日	5,282人
展示「長谷川家の夏」	商売と生活の両面から伊勢商人としての長谷川家の「夏」を展示。江戸店から送られてきた決算書類、夏のお茶会の記録、お盆行事などを展示。	7月10日～ 9月23日	2,129人
展示「長谷川家の茶の湯」	蒲生氏郷作の「茶杓」、長谷川家歴代当主と裏千家宗匠との親交がうかがわれる書状や茶道具等の展示により長谷川家と日本の伝統文化である「茶」とのつながりを展示する。	9月25日～ 12月15日	6,394人
「長谷川家の信仰と年中行事」	歴代当主の篤い寺社信仰に関わる資料、長谷川家の年中行事、魚町1丁目の山の神などの資料を展示。	12月17日～ 3月15日	3,126人
特別展示「ちょっと昔のお雛さま」	昭和三十年代ごろの長谷川家のお雛さまと七段飾りや御殿雛を大正座敷に展示。	2月8日～ 3月3日	957人
展示「俳人長谷川可同と餅舎コレクション」	11代定矩(可同)の俳諧に関する資料、収集した餅舎のコレクション(札、茶器、香炉、看板、襖など)を展示。	3月18日～ 7月12日	321人

②旧小津清左衛門家では向蔵をメイン会場に企画展を開催しました。

タイトル	概要	実施期間	来館者数
展示「小津家のあゆみ」	小津家が紙問屋から始まり、現在に至るまでのあゆみがわかる展示	4月1日～ 5月12日	2,217人
展示「小津清左衛門家子ども祝い事」	13代長孝が生まれた際の節句や宮参り山の神の祭りの様子がわかる展示。	5月15日～ 8月4日	2,905人
展示「清水の豪商 乾九兵衛家のあゆみ」	平成29年、松阪市出身の豪商、現在の松阪市清水町の乾家から市に寄贈された乾家伝来の生活道具類、古文書の展示。	8月7日～ 10月6日	1,676人
展示「松阪商人の茶の湯」	小津本家・東小津家・乾家伝来の茶書や茶道具、裏千家11代玄々斎の書状、茶人小津石斎や松阪三井家三井高匠の掛軸などの資料を展示。	10月8日～ 1月13日	4,183人
展示「木綿商津嶋屋竹内家のあゆみ」	江戸店持ちの木綿問屋・竹内家伝来の商業資料や古文書類・生活道具などを展示。	1月16日～ 4月5日	1,946人
特別展示「ちょっと昔のお雛さま」	小津家のお雛さまと段飾りや御殿雛を勘定場と向座敷で展示。	2月8日～ 3月3日	754人

③原田二郎旧宅は土間の展示ケースを主に企画展を開催しました。

タイトル	概要	実施期間	来館者数
展示「原田二郎の業績」	鴻池家の再建や私財を投じて社会事業に貢献したことがわかる展示。	4月1日～ 8月18日	3,031人
展示「町奉行組同心服部家と松阪徳義社」	松阪町奉行組奉行所同心であった服部家伝来の資料及び松阪徳義社所蔵資料の展示。	8月22日～ 11月10日	1,755人

展示「原田二郎と佐々木弘綱・信綱父子」	23歳で上京した原田は佐々木弘綱家に寄宿。和歌の指導を受けた国学者弘綱・信綱父子の資料を展示。	11月13日～ 2020年4月12日	3,051人
---------------------	---	-----------------------	--------

2. 自主事業

【豪商のまち観光交流センター】

観光交流センターの来館者数は季節的な変動がありますが、行楽シーズンで6,000人、少ない月でも2,000人の入館者数があり、これに伴い物販売上も増減はあるものの売上高は順調に推移しており一定の利益がありました。

物販の形態は、商品を買取り販売する買取商品と、各店舗等から販売を委託され販売手数料をいただく委託販売を扱っており、大半は委託販売商品であり売上状況や売上高からは利益率の高い商品が買われていることがうかがえます。

秋の行楽シーズンでは、多くの団体旅行者の来館があり、お客様のニーズを意識した松阪ゆかりの商品を陳列するなど他にはない特色のある物販を紹介、販売し更なる収益増をめざしました。

(1) 松阪ゆかりの商品の販売

豪商のまち松阪観光交流センターでは、買取商品の販売が好調で、高額商品では、松阪牛の革を使った財布、名刺入れ等に松阪牛の個体識別ナンバー（JPナンバー）が刻印され、三重県松阪食肉公社が発行する素材証明書が添付された商品に人気があります。

委託販売では、松阪にゆかりのある名産品を揃え販売しており、企画展示に関連した商品、スイーツフェア等の企画フェアでの商品に人気があります。

お客様から、松阪に所縁のある名産品を揃えて良かったとのお声をいただいております。展示、企画販売等も含めてPRし、お客様に松阪の良さをお伝えし、売りに上げていきたいと考えております。

① 売上高の推移

売上高	4月	5月	6月	7月	8月	9月
平日	1,025,370	1,038,852	989,616	933,175	939,636	938,741
土日祝	1,351,497	1,338,005	770,526	504,953	636,448	638,139
計	2,376,867	2,376,857	1,760,142	1,438,128	1,576,084	1,576,880

売上高	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
平日	1,878,183	1,440,480	1,291,351	893,768	731,294	675,169	12,775,635
土日祝	892,390	1,056,232	701,215	605,384	1,156,237	506,956	10,157,982
計	2,770,573	2,496,712	1,992,566	1,499,152	1,887,531	1,182,125	22,933,617

② 販売状況

	営業日数 (日)	売上高 (円)	客数 (人)	一日平均 客数 (人)	平均日商 (円)	客単価 (円)
平日	249	12,775,635	6,575	26.4	51,308	1,943
土日祝	117	10,157,982	5,577	47.7	86,820	1,821
計	366	22,933,617	12,152	33.9	62,660	1,887

(2) 物産企画展 (1階エントランス)

一階エントランスホールを使って季節に合わせた物産品の展示と販売を行いました。

タイトル	開催期間	概要	その他
お中元フェア	7月24日 ～8月30日	手土産が欲しいというお客様の要望に応じて、お中元商品を展示・販売しました。	お中元用箱での販売は、松治郎の舗、まつぶた、新緑茶房。
スイーツフェア	10月17日～ 11月31日	洋菓子を集めてほしいというお客様の要望に応え選りすぐりの洋菓子を販売しました。	アニバーサリー、アンデルセンコンディトライ、サン・ミッシェル、1010番地など。
鍋フェア	12月15日～ 1月31日	J A松阪の三重なばな、松阪興産のトマト、松阪肉などを使った心身温まる鍋料理を紹介。また、四日市万古のお鍋や飯高の杉箸の販売も行いました。	三重県の特産品の紹介やレシピの配布、会員販売店を紹介。
和紙フェア	2月6日～ 5月31日	松阪に縁のある和紙の展示販売を行うとともに2階にて和紙に関する展示を行いました。	深野和紙、小津和紙、工房山の風、「いせ辰」の紙製品。行燈、ハガキ、和紙、ご祝儀袋など。

(3) 特産品の紹介と販売

① 深野和紙を使用した御城印の作成、販売の実施。

限定 200 枚で 12 月 3 日に発売し 12 月 9 日に完売しました。(税込 500 円/枚)

② イベントでの物販と誘客

10月11～12日 鈴鹿F1グランプリでバンビの商品を販売しました。

(売上 510,600 円)

10月16日 梅田ディース バンビ、うきさとむら、茶重の商品を販売しました。

(売上 19,800 円)

③ 第一勧業信用組合地方創生部より依頼

11月21日 東浅草支店物産品展（売上 43,750円）

2月14日 地方物産品展（売上 362,020円）

【旧長谷川治郎兵衛家、旧小津清左衛門家、原田二郎旧宅】

(1) 旧長谷川治郎兵衛家

イベント内容	概要	実施期間	参加者数	料金
藍のたたき染め体験教室	松阪もめん伝承グループ「ゆうづる会」に依頼した。木綿のハンカチを各自が藍の葉を使って思い思いのデザインをほどこし、まわりを泥藍で染めた。	8月4日	11人	無料
「火用心」札木版印刷体験教室	創業以来一度も火事を出していない長谷川家の「火用心」木版の縮小版を作成し、これを摺る体験を通して松阪商人の歴史文化に触れ、同時に松阪商人を顕彰する。	10月20日	44人	無料
氏郷市民大茶会	氏郷まつり協賛。蒲生氏郷公顕彰会と松阪市茶道協会と松阪歴史文化舎共催事業「氏郷市民大茶会」。	11月3日	1,082人	無料
ミニコンサート	ミニコンサート 「秋の夜長の雅楽の調べ」	11月24日	44人	500円/人
松阪市茶道協会発会記念茶会	松阪市茶道協会の発会を記念した大茶会を長谷川、小津の両施設で開催。共催の形をとり支援。当日は入館料も無料とし、市民参加を促した。	12月21日	674人	無料

(2) 旧小津清左衛門家

イベント内容	概要	実施期間	参加者数	料金
皇風煎茶禮式三重大会	宗匠を招いた同会の全国大会で、旧小津清左衛門家の全館を使用した。	5月19日	243人	120円/人
古文書入門講座（第1回）	長谷川・小津の古文書をテキストを使い、古文書の扱い方、保存方法、調査手法等を学ぶ。	9月8日	10人	500円/人

飯南高等学校抹茶ラテ	飯南高等学校とのコラボ事業として、生徒さんが立てた抹茶ラテをふるまい、テレビ等マスコミで報道された。	9月22日	34人	無料
古文書入門講座（第2回）	長谷川・小津の古文書をテキストに使い、古文書の扱い方、保存方法、調査手法等を学ぶ。	10月13日	10人	500円/人
氏郷市民大茶会	氏郷まつり協賛。蒲生氏郷公顕彰会と松阪市茶道協会と松阪歴史文化舎共催事業「氏郷市民大茶会」。	11月3日	750人	無料
古文書入門講座（第3回）	長谷川・小津の古文書をテキストに使い、古文書の扱い方、保存方法、調査手法等を学ぶ	11月10日	6人	500円/人
古文書入門講座（第4回）	長谷川・小津の古文書をテキストに使い、古文書の扱い方、保存方法、調査手法等を学ぶ	12月8日	7人	500円/人
松阪市茶道協会発会記念茶会	松阪市茶道協会の発会を記念した大茶会を長谷川、小津の両施設で開催。共催の形をとり支援。当日は入館料も無料とし、市民参加を促した。	12月21日	674人	無料
古文書入門講座（第5回）	特別実習として古文書の裏打ち作業を行う。	1月12日	6人	500円/人

（3）原田二郎旧宅

イベント内容	概要	実施期間	参加者数	料金
松阪三珍花「松阪菊」展示	松阪三珍花保存会の「松阪菊」の展示	11月27日 ～ 12月1日	115人	無料

（4）イベント等実施状況

旧小津清左衛門家では、毎月2回（第2土曜日と第3土曜日）松阪市伝統文化茶道子ども教室を向座敷で松阪市茶道協会と共賛で行い、小学生から中学生約30名が参加しています。（無料）

旧長谷川治郎兵衛家では、毎月2回（第2土曜日と第3土曜日）松阪市伝統文化華道子ども教室を離座敷で松阪市双葉流と共賛で行い、小学生から中学生約30名が参加しています。（無料）

(5) 特産品の紹介と販売

①東京日本橋小津和紙の商品を販売

旧小津清左衛門家 1 1月1日～3月31日 (売上 63,190 円)

②東京日本橋小津和紙の商品を販売

旧長谷川治郎兵衛家 1 2月1日～3月31日 (売上 5,500 円)

(6) 共通年間パスポート券の販売

2月1日から旧長谷川治郎兵衛家と旧小津清左衛門家の2館を対象に発行日から1年間、フリーで何回でも入館できる共通年間パスポート券を発行しました。1枚1,000円(大人価格のみ、本人のみ)で販売し、旧長谷川治郎兵衛家では46枚、46,000円。旧小津清左衛門家では、3枚、3,000円の売上がありました。

3. 施設設備等の管理

(1) 維持管理業務

各施設においては、設備等の法定点検や仕様書に基づき管理を行ってまいりました。現在まで、運営に支障となるような大きな不具合や緊急事態の発生は無く来訪者が快適に過ごしていただくことができました。開館以降不具合やお客様からのご指摘等に対し、その都度市へ報告するとともに改善できるところは迅速に対応し利便性の向上を図ってきました。

① 保守管理の状況

【豪商のまち松阪観光交流センター】

作業項目	実施日	保守点検事業者
消防点検	4月5日	日本報知器
エレベーター保守点検	4月12日	三菱電機ビルテクノサービス
エレベーター保守点検	5月13日	三菱電機ビルテクノサービス
エレベーター保守点検	6月27日	三菱電機ビルテクノサービス
エレベーター保守点検	7月23日	三菱電機ビルテクノサービス
エレベーター保守点検	8月22日	三菱電機ビルテクノサービス
エレベーター保守点検	9月25日	三菱電機ビルテクノサービス
エレベーター保守点検	10月29日	三菱電機ビルテクノサービス
エレベーター保守点検	11月29日	三菱電機ビルテクノサービス
エレベーター保守点検	12月24日	三菱電機ビルテクノサービス
エレベーター保守点検	1月30日	三菱電機ビルテクノサービス

エレベーター保守点検	2月28日	三菱電機ビルテクノサービス
エレベーター保守点検	3月27日	三菱電機ビルテクノサービス

【旧長谷川治郎兵衛家、旧小津清左衛門家、原田二郎旧宅】

施設名	作業項目	実施日	保守点検事業者
旧長谷川治郎兵衛家	蔵の燻蒸	7月22日	中部資材(株)
旧小津清左衛門家	蔵の燻蒸	7月22日	中部資材(株)
旧長谷川治郎兵衛家	浄化槽点検	7月26日	(株)村田衛生社
旧長谷川治郎兵衛家	浄化槽点検	8月8日	(株)村田衛生社
原田二郎旧宅	消防施設点検	9月10日	日本報知機三重(株)
旧長谷川治郎兵衛家	消防施設点検	9月27日	(株)山口商会松阪営業所
旧小津清左衛門家	消防施設点検	9月27日	(株)山口商会松阪営業所
原田二郎旧宅	音声ガイド設備点検	9月17日	(株)乃村工藝社
原田二郎旧宅	消防施設点検	2月7日	日本報知機三重(株)
原田二郎旧宅	音声ガイド設備点検	3月16日	(株)乃村工藝社
旧長谷川治郎兵衛家	電気配線設備の点検	3月27日	(有)三重電機商会
旧小津清左衛門家	消防設備点検	3月31日	(株)山口商会松阪営業所

② 修繕等の状況

【豪商のまち松阪観光交流センター】

○新設

内容	完了日	修繕等事業者
防犯カメラの設置	3月	イセツト(株)
ウインドウサイン	3月	(株)大鵬堂

○修繕

内容	完了日	修繕等事業者
エレベーター監視装置取付け	5月	三菱電機ビルテクノサービス
多目的トイレパーテーションの設置	2月	伊藤工務店(株)
スタッフルームの改装	3月	伊藤工務店(株)
2階展示用スポットライトの改修	3月	伊藤工務店(株)

【旧長谷川治郎兵衛家、旧小津清左衛門家、原田二郎旧宅】

○新設

施設名	内容	完了日	修繕等事業者
旧長谷川治郎兵衛家	エヤコン設置	7月12日	(有)光電機商会
旧長谷川治郎兵衛家	監視カメラ設置	3月26日	東亜(株)
旧小津清左衛門家	監視カメラ設置		三重電気商会

○修繕

施設名	修繕内容	完了日	修繕等事業者
旧長谷川治郎兵衛家	離れ座敷ふすまの交換	4月24日	中北尚古堂
旧長谷川治郎兵衛家	西蔵の修理	11月1日	中谷建設
旧小津清左衛門家	タタキ風土間の補修	3月9日	高島建設
原田二郎旧宅	タタキ風土間の補修	3月9日	高島建設
旧小津清左衛門家	塀壁(トイレ横)の補修	3月16日	高島建設
旧長谷川治郎兵衛家	通路高窓木製建具	3月19日	高島建設
旧小津清左衛門家	前蔵破風の修理	3月23日	高島建設
旧小津清左衛門家	畳入替	3月25日	河辺タタミ兄弟商会

(2) 備品管理

市からの貸与備品をはじめ貸与備品以外の取り扱いについては、常に良好な状態を保つよう日常点検を行い、職員の業務環境の保全とともにお客様が安全にご利用いただけるよう管理してまいりました。備品類の不具合があった場合は、市への報告とともに納入、設置事業者へ調査を依頼、早急な対応をお願いし機能が損なわれること無く良好な状態が保てるよう維持管理に努めました。

① 市登録備品管理状況

破損、使用不能、交換等の該当は無く良好な状態を保っています。

② 指定管理者備品管理状況

別紙備品管理簿参照

IV 収支状況(管理業務・自主事業)

別紙収支報告書参照

【豪商のまち松阪観光交流センター】

管理業務については、人件費では、非常勤職員の育成に伴い職員体制を見直し、正職員の業務を非常勤職員で担当する等で縮減に努めました。管理費では、印刷製本費、通信運搬費、使用料等をコスト意識を高めて縮減し、公開初年度で必要と判明した管理運営に必要な消耗品、お客様の声を反映した施設の一部修繕等を行いました。事業費では、情報端末事業費が不要になり、誘客に向けて企画展示等の開催、プロモーション等を積極的に行いました。

自主事業については、行楽シーズンで6,000人、少ない月でも2,000人の入館者数があり、これに伴い物販売上も増減はあるものの売上高は順調に推移しており一定の利益がありました。物販の形態は、商品を買取り販売する買取商品と、各店舗等から販売を委託され販売手数料をいただく委託販売を扱っております。商品の大半は委託販売商品ですが、売上状況や売上高からは利益率の高い買取商品の売上が好調でした。

秋からは1階エントランスでスウィーツフェア・鍋フェア等企画展を開催し、三重県特産品の紹介と販売を行い収益増となりました。

春の行楽シーズンの始まりと共に、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、お客様が想定外の減少となりました。さらなる展開の時期に残念でありませんが、この一年間で得たノウハウを活かして状況に合わせて職員の安全を守りつつ対応してまいります。

【旧長谷川治郎兵衛家、旧小津清左衛門家、原田二郎旧宅】

平成31年4月から観光協会からの旧長谷治郎兵衛家・旧小津清左衛門家・原田二郎旧宅の3施設の管理委託を受けて事業を実施してきました。

収入においては、利用料金等の収入で、利用者の増加等により予算より収入の増となりました。

支出においては、管理費では、人件費で大幅な減額となりましたが、人件費以外の支出では、委託料で予算外にホームページの作成業務、パンフレット作製等の支出が増加しました。

事業費では、消耗品費の大幅な増、印刷製本費の減など適正な予算運営とはなりませんでした。

管理委託契約の初年度のこともあり、上半期では支出を抑えながら経営をおこなってききましたが、想定外の支出等が発生するなど、経営として難しい状況で推移しました。

結果として、収入から支出を引いた令和元年度の当期利益として、3,998,011円の黒字となりました。

VI 別紙資料

1. 収支報告書
2. 修繕等記録（写し）
3. 備品台帳（写し）